

80th Memorial

あわら病院創立80周年を祝って

創立80周年おめでとうございます。

あわら病院が昭和・平成・そして令和へと時代を超えて、国立病院機構の重要な使命である結核医療、重症心身障がい児(者)療育、神経筋難病など、いわゆるセーフティーネット医療の提供を地域の信頼を得ながら続けてきたことに敬意を表すとともに、地元の医療関係者や自治体の方々のご支援に深く感謝申し上げます。

国立病院機構では、近々に迫る超高齢化社会において、それぞれの病院が地域の皆さんとコミュニケーションを深め、その特性に応じて地域医療の質の向上に寄与していくことを推進しています。あわら病院は国立病院機構の中では最も規模の小さい病院ですが、その特性を生かし、機動性を発揮しているチャレンジ精神のきわめて高い病院です。果敢に新しいものを取り入れる努力を重ねられ、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の中で確かな役割を担っている姿は頼もしくもあります。

今後とも地域の安全と安心に貢献するため、安定した経営基盤を維持し、医療の質と患者サービスの向上をめざして、次世代につながる地域医療を構築していかれることを期待しています。



独立行政法人国立病院機構
理事長

楠岡 英雄



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉 TEL.0776-79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261

URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

「多くの人の笑顔のために」

■重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。

■社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたまる医療を実施します。

■臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。

■公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。

創立80周年を迎えて

国立病院機構あわら病院は、今年で創立80周年を迎えます。

これまで80年間にわたり、当院をご利用いただきました地域住民の皆さま、そのご家族、ご支援いただきいただきました地域の医療機関・福祉・介護施設、さらには行政の方々、そして職員の方々に、改めて心より御礼申し上げます。

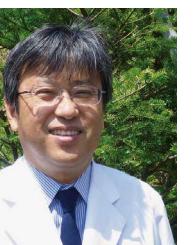
あわら病院は、昭和14年に福井県立療養所北潟臨湖園として当地に創設されて以来、時代の要求とともに一般医療、重症心身障がい児(者)療育が診療内容に加わりました。その後、結核入院医療の終了を経て、平成16年からは、現在の国立病院機構あわら病院として、重症心身障がい児(者)療育、神経・血液・免疫などの難病医療、そして長寿医療を中心とする専門医療を展開しています。

また当院は、高齢化社会を先取りする過疎地域に立地しています。私たちはこの状況を積極的にとらえフロンティアとして、地域に密着した専門医療の充実を目標に掲げて活動しています。さらに3年前からは、在宅医療が入院医療のレベルに、また、入院生活が在宅生活のレベルになるようにということを目指して、「Hospital in the home, Home in the hospital」というフレーズを掲げ、入院・外来・在宅の診療体制を作り上げ、来るべき時代に備えています。

令和という新しい時代を迎え、先人の築き上げたものを大切にしながら、職員一人ひとりの、そしてチームの力を信じて、セーフティーネット医療を支える質の高い医療を届けられるようにしていきたいと思っています。

今後とも皆様の心からのご理解とご協力をどうぞお願ひ申し上げます

わら病院創立80周年によせて



院長 審津谷

この度は国立病院機構あわら病院創立80周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。旧北潟病院以来のお付き合いですが、特に我々の教室より津谷寛院長をお送りするにあたり、診療の充実化並びに医師のQOL両面を考えて、当時おそらく最も充実した我々の教室員をお送りしました。院長を先頭にその期待によくお応えいただき、地域医療の大きな受け皿になると同時に、専門である障がい児(者)医療、痛風、リウマチ、循環器等の診療のみならず、この規模の病院では通常困難な研究機能を備え、機構の研究テーマとして尿酸研究が採択され、血液病研究にも力を発揮され、コメディカルの方のアクティビティも高く、地域医療の理想の在り方の一つを体現されていると思います。今後も高齢化の進行で貴病院の必要性が益々高まる中、今後の更なる御発展を心より期待しております。



福井大学 学長
上田 孝典

あわら病院80周年記念お祝い



あわら病院

あわら病院開設80周年記念、誠におめでとうございます。
私の子供が入所した昭和54年は国立療養所北潟臨湖園の
小高い丘に建つ田舎の病院という雰囲気で、今も駐車場の上に
造の建物が正面玄関、そこに子供を連れて行きましたが預けた
ときには後ろ髪を引かれる思いでした。

しかし重心病棟の木の芽・わかば病棟は新しく新築されていて明るく開放的だったので、快適に過ごせるのではないかと気持ち的にホッとして帰った事を今も覚えています。

そして病院も国立療養所北潟病院となり、その後は時代の流れと共に国立病院機構あわら病院となりました。

数年前には素晴らしい6階建ての新病棟が出来上がり一般病棟も含め快適な病棟になり又家族控室も造って頂きました。

病院の周りは自然環境も良く、町なかの病院では感じる事の出来ない新鮮な空気・そして四季折々の花や小鳥のさえずり新緑に囲まれた雰囲気は何にも代えがたい人を和ませる素晴らしい病院です。

外来や入院患者が安心して診て頂ける先生・看護師・職員の方々のご努力と献身的な治療や看護があればこそで、地域医療の要となって、今後とも充実した医療活動に取り組んで頂き、益々のご発展されん事を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせて頂きます。

80年の歴史 Awara hospital History

